

マレーシア語副詞の有標位置

正保 勇

(東京外国語大学外国語学部教授)

1. はじめに

マレーシア語の時の副詞は、次の(1), (2)に於ける *kelmarin* (一昨日) の如く、文尾か、文頭の位置を占めるのが普通である。

- (1) Kelmarin nenek berlepas ke Mekah dengan kapal laut.
(一昨日祖母は海路メッカ巡礼の旅に上った)
- (2) Nenek berlepas ke Mekah dengan kapal laut kelmarin.
(祖母は一昨日海路メッカ巡礼の旅に上った)

そして、例えば、*kelmarin* という時の副詞を主語と動詞の間に介在させた次の様な例は排除される。

- (3) *Nenek kelmarin berlepas ke Mekah dengan kapal laut.
(一昨日祖母は海路メッカ巡礼の旅に上った)

しかし乍ら、ブリタハリアン紙のオンライン版 (Berita Harian Online) のコーパスに当ってみると、上の(3)の様な、排除される筈の布置を取る例が現れる。

- (4) Mahkamah Rayuan di sini semalam, menangguhkan kepada Isnin depan rayuan pemandu bas ekspres yang dihukum gantung sampai mati kerana menyebabkan kematian seorang jurutera computer wanita empat tahun lalu.
(当地に於ける上告審は昨日、4年前女性のコンピューター技師を死亡させた年絞首刑の判決が言い渡されている高速バスの運転手が求めた控訴審を来週の月曜日まで延期する旨の発表をした)

(Berita Harian Online 2/3/2005)

(3) が排除されるのに、(4) が許容されるのは、後者の文で、時の副詞 *semalam* (昨日) を通常の布置である文尾に置くと、*semalam* は、その左の一番近い CP 内にあるものとして解釈されることになり、正しい解釈が阻害される結果を生じるからという理由が考え

られる。

又、次の例の様に、様態の副詞句は、他動詞とその目的語の間に割り込む位置を取ることはできない。

- (5) *Dia memandu dengan laju keretanya.

しかし乍ら、実際のコーパスに当ってみると、次の様な、他動詞とその目的語の間に割り込む形で様態の副詞句 *dengan rapi* (細かく) が現れている。

そして、*dengan rapi* (細かく) という副詞句が、通常は排除される位置に現れるのは何故かを考えてみると、それは、この副詞句を文尾に置くと、すぐ左の一番近い CP 内に属するものとして、解釈され、望む様な解釈が阻害されるという理由によるものである。

- (6) “.... Bersama inisiatif ini, semua pekerja kami diarahkan memantau dengan rapi individu yang mencurigakan atau sebarang perkara ganjil,” katanya.

(これを切っ掛けに、我々全ての従業員は、怪しい人物やいつもと違う事柄には細心の注意を払うよう指示された)

(Berita Harian Online 15/4/2005)

次の (7) は、(6) と同様、他動詞の目的語が長くなっている。こういう出現環境が与えられると、様態の副詞句 *dengan laju* は、他動詞とその目的語の間に割り込むことが可能となる。こういう状況で、*dengan laju* を文尾に置けば、*dengan laju* は、左の一番近くにある CP、即ち *yang* によって導かれる関係節に属するものとして望ましくない解釈を与えられることになる。従って、この位置を占めるのは、この副詞句が望ましくない解釈を与えられるのを避ける為に取る、やむを得ざる手段なのである。そうして、この様なやむを得ざる状況があつて初めて、この位置を占めることができるのである。

- (7) Dia memandu dengan laju kereta polis yang dicurinya dari belakang pekarangan pondok polis malam semalam.

(昨晩派出所の裏庭から盗んだパトカーを彼は暴走させた)

次も、Berita Harian Online からの例であるが、他動詞と目的語の間に *dengan pelbagai cara* (様々な方法で) という手段の付加詞が割り込んでいる。

- (8) Penyangak mata wang boleh melakukan dengan pelbagai cara mensabotaj ekonomi negara.

(通貨の相場師達は様々な手段で国の経済を混乱に落とし入れることができる)

(Berita Harian Online 1/5/2005)

しかし乍ら、この例は、(6) とは異なり、目的語が長い訳ではないので、尋常ならざる布置を取る理由は別のところに求められなければならない。この場合、それは、意図せざる解釈を防ぐという所に求められる。つまり、もし、*dengan pelbagai cara* を文尾に置くと、「様々な国内経済の混乱を齎す」という解釈を生むが、それは、本来意図された解釈である「様々な手段を使って、国内経済の混乱を齎す」という解釈からはズレてしまう。この様な、意図せざる解釈が生じることを防ぐための、やむを得ざる措置として、この位置を占めているのである。

次の二つの例に於ける、*balik*（返す）、*semula*（元の様に）も、他動詞とその目的語の間に割り込んでいるが、これは又、別の理由に拠るものである。これらの副詞が、他の割り込みをする副詞と異なる点は、前者が常にこの位置を占めるという点である。即ち、これらの副詞は、他動詞と一体化して、複合動詞の様に振舞うので、目的語が長いか短いかはこの副詞の割り込み可能性には直接関わってこない。

- (9) KUALA LUMPUR: Kertas cadangan mengenai potongan gaji peminjam Perbadanan Tabung Pendidikan Tinggi Nasional (PTPTN) akan dibentangkan ke Kabinet tidak lama lagi sebelum dilaksanakan sebagai usaha terbaru memastikan peminjam membayar balik pinjaman mereka.

(ケアラルンプール発：国立高等教育基金から貸付を受けている人の給料から天引きする旨の提案が間もなく国会に上程され、これにより、貸付を受けた人がちゃんと借金を返すようにするための新しく考えられた方策として機能することになる)

(Berita Harian Online 18/4/2005)

- (10) Kabinet mengarahkan Kementerian Perdagangan dalam Negeri dan hal Ehwal Pengguna (KPDNHEP) mengambil semula tugas menguatkuasa peraturan berkaitan logo halal ,manakala Jabatan Kemajuan Islam Malaysia (Jakim) bertanggung jawab mengeluarkan sijil halal.

(内閣は国内商業消費担当省に対してハラルの認可表示に関する法律の施行を司る業務を復活し、ハラルの認可証の交付はマレーシア・イスラム推進局の管轄とする旨の通達を出した)

(Berita Harian Online 18/3/2005)

以上観てきた例は、全て、副詞、及び副詞句が通常の布置から外れる場合であったが、この様な例が存在すること自体、大量のコーパスを涉獵して、初めて得られた知見である。そして、その様な有標な位置を取る理由に就いても、多くのコーパスを見渡して初めて見えてくるのである。大量のコーパスを使うことの利点は、様々な角度からの考察を可能にすることは勿論であるが、ともすれば真空状態で構築された文法理論が実際の言語運用と乖離していくのを食い止めることも可能にしてくれるという点も見逃すわけにはいかない。本論では、副詞の通常の布置を破る布置、即ち、有標の位置に就いて考察すると共に、

それを齎す要因を探る。更に又、これらの副詞、副詞句の相互の配置に就いての動態的な考察も行うつもりである。後で述べる様に、マレーシア語の様態の副詞は、動詞の右に現れる時に、*dengan* という前置詞を伴う場合が多いこと、実際の文中では、副詞と副詞句が、それら相互の配列順序の決定に際して、両者の区別が関与しているとは考えられない、即ち、両者は配列順序の決定に関しては同じ資格の駒として機能すると看做されるので、本考察では、副詞と、副詞句の両者を同一のレベルに置いて考察するつもりである。本考察で主として使用するコーパスは、オンライン上の Berita Harian 紙である。従って、本考察は、新聞記事の文体という視点からなされたものである。

2. マレーシア語の形容詞と副詞

マレーシア語では、形容詞と副詞が形態的にも、出現する位置からも、判然と区別できないという事情がある。形容詞的に用いられる語は、同じ形の儘で、同時に副詞的に使われる場合が殆どである。

この様な類の語としては、*laju*, *fasih*, *deras* がある。今、*laju* と *fasih* に就いて見てみる。
(11), (12) は、形容詞的な使い方の例であり、(13), (14) は副詞的な使い方の例である。

- (11) Dia kagum melihat kereta peluru yang sangat laju itu.
(彼はそのとっても速い高速列車を感嘆の目で眺めていた)
- (12) Bahasa Inggerisnya sangat fasih.
(彼の使う英語はとても流暢だ)
- (13) Dia laju memandu kereta.
(彼は車を飛ばした)
- (14) Dia fasih cakap bahasa Perancis.
(彼は流暢にフランス語を喋る)

そして、この類の語は、動詞の右側の領域で、副詞的に使われる際には、副詞的に使われていることを明らかにする為に、*dengan* を伴って出現することが多い。(13), (14) は (15), (16) の様にパラフレイズすることができる。

- (15) Dia memandu kereta dengan laju.
(彼は車を飛ばした)
- (16) Dia cakap bahasa Perancis dengan fasih.

deras も、*laju* や *fasih* と同じく、形容詞としても、副詞としても働く語である。例えば、(17) の *deras* は、形容詞であるが、(18) の *deras* は副詞である。

(17) Arus sungai itu sangat deras.

(その川の流れは速い)

(Kamus Komputer Telapak)

(18) Tolong ambilkan aku songkok deras sedikit.

(急いで俺の帽子を持ってきてくれないか)

(Kamus Komputer Telapak)

(17) では、「速い」という意味の述部形容詞として使われており、(18) では、「速く」という意味の副詞として、*ambilkan* *aku* *songkok*（俺に帽子を取ってくる）という動詞句に掛かっている。次の *deras* も副詞として使われているが、こちらの場合には、動詞の前に使われている。

(19) Hujan semakin deras turun.

(雨は益々激しく降った)

(Kamus Komputer Telapak)

しかし乍ら、*deras* は、次の文が非文であることから分かる様に、動詞の右の領域に現れる場合でも、*dengan* と共に現れることはない。この点が、*laju* や *fasih* と異なる。

(20) * Tolong ambilkan aku songkok dengan deras sedikit.

この *deras* と同じグループに入る語としては *lambat* がある。次の (21) は述語形容詞と使われた場合であり、(22) と (23) は、副詞として動詞句を修飾している場合である。

(21) Gerakannya kaku dan lambat.

(彼の動作はぎごちなく緩慢であった)

(Kamus Komputer Telapak)

(22) Dia datang lambat.

(彼は遅くやって来た)

(Kamus Komputer Telapak)

(23) Dia lambat datang.

(彼は遅くやって来た)

そして、*deras* と同じく、動詞の右の領域に現れる場合も、*dengan* という前置詞を取ることはない。つまり、次の様な文は非文となる。

(24) * Dia datang dengan lambat.

これらの類の語群とは別に、副詞的にしか機能しない語があるが、数量的には非常に少ないと言える。その様な例としては、*terus*, *kencang*, *tekun* がある。そして、最初の二つの語は、動詞の右に現れる場合でも、*dengan* と共に現れることはない。それは、副詞的な機能しかない為に、区別すべき他の機能を有しないのであるから、*dengan* を付けて、区別する必要がないためである。例えば、次の (25) の *terus* を *dengan terus* とすることはでき

ない。

- (25) "Hati saya masa itu berdetik, Hassan selalunya tidak akan menendang terus, sebaliknya akan membuat hantaran kepada saya.

(その時、私の胸は高鳴った。普通ハッサンはずっとキックし続けるということはことはなかったからだ。そうではなく、私に玉をパスしてくるのが常であった)

(Berita Harian Online 26/3/2005)

kencang も又、動詞の前に置かれた時は、副詞として使われ、動詞の右の領域でも同じ形で出現し、**dengan kencang* の形で現れることはない。

- (22) Angin kencang bertiup.

(風が強く吹いている)

- (23) Angin bertiup kencang.

(風が強く吹いている)

lambat や *deras* や *kencang* は、副詞の度合いが高いので、動詞の右の領域に現れる時に、形容詞との区別をする為に付けられる *dengan* という支えは必要ないと考えられる。

tekun も副詞としてしか使われない語であるが、動詞の右の領域に現れる場合には、*dengan* を伴って現れる。この点が、*terus* とは異なる点である。(26) は動詞の左に現れた例であり、(27) は、動詞の右の領域に現れた例である。

- (26) Dia tekun belajar bahasa Malaysia.

- (27) Dia belajar bahasa Malaysia.*dengan tekun*

この *terus* や *kencang* や *tekun* の様な場合とは逆に、専ら形容詞として使われる語が、動詞の右側の領域で、副詞として機能する時には、*dengan* の付加は義務的となる。その場合、*dengan* だけが付加される場合と、*dengan ~nya* となる場合の二種類が認められる。前者に属するものとしては、*baik* や *rapi* がある。(28) は *dengan baik* の例で、(29) は *dengan rapi* の例である。

- (28) Dan dalam keadaan lain pula, ketika suis kontak starter diputar, enjin dapat berfungsi tetapi tidak berjalan dengan baik dan kemudian mati dengan tiba-tiba.

(又別のケースでは、スターターのスイッチを入れると、エンジンはかかるが、調子が悪く、やがて突然止まってしまうというものだ)

(Berita Harian Online 1/8/2004)

(29) = (6) “.... Bersama inisiatif ini, semua pekerja kami diarahkan memantau dengan rapi individu yang mencurigakan atau sebarang perkara ganjil,” katanya.

(これを切っ掛けに、我々全ての従業員は、怪しい人物やいつもと違う事柄には細心の注意を払うよう指示された)

(Berita Harian Online 15/4/2005)

動詞の右側に現れる時に、dengan ~nya の形で現れる例としては、nyenyak, lebat がある。次は、その例である。

(30) Ibu bukan main risaunya. Tetapi aku pelik melihat kakak boleh tidur dengan nyenyaknya di sebelahku. Jikalau gempa bumi melanda pun belum tentu kakak boleh terjaga.

(お母さん的心配振りは只事ではなかった。それなのに、姉は私の傍らでぐっすり寝ているのを見て、ほんとによく寝られるなあと思った。地震が来ても、姉は起きそうにもなかつた)

(Anatilmizun,Memori Sekeping Foto 21/5/2004)

(31) Pada suatu hari, hujan telah turun dengan lebatnya.

(或る日、雨が激しく降った)

(Minda Pelajar /Berita Harian Online 24/9/2003)

次の (32) の lebat は、他の様態の副詞が取る位置と同じ位置、即ち、動詞 (berbunga) の前に置かれているので、副詞の様に見える。もしこれが副詞であれば、laju (速く) の場合と同様、dengan を冠した形で、動詞の右の領域にあらわれるという特徴があった。併し乍ら、(33) の様な文は、認められないので、laju の場合とはことなり、(33) の lebat は形容詞で、その後に補文を取っている構文と考えられる。

(32) Jika musim durian, pokok durian di sini lebat berbunga dan bertaburan di atas rumput, menjadikan pemandangan di keliling comel ini amat menarik.

(ドリアンの季節ともなれば、このドリアンの木にはたわわに実がなり、草にはドリアンが散り敷き辺りの風景を一変させる)

(Berita Harian Online 2/4/2005)

(33) * Pokok durian di sini berbunga dengan lebat.

同様に、(34) の nyenyak も副詞ではなく、形容詞で、後続の tidur は、補文であると考えられる。

(34) “Saya kemudian melihat di sekeliling dan semua penumpang lain sedang nyenyak tidur ketika itu,” katanya.

（「その後私は辺りを見渡すと、他の乗客は皆ぐっすりと眠り込んでいたんです」と彼は語った）

(Berita Harian Online 15/4/2005)

cepat (速い, 速く) という語も、(35) の様に、動詞の左に現れると、*lebat* や *nyenyak* と同じく *dengan ~nya* というパターンで現れる。このことから逆に、(36) に於ける *cepat* は形容詞であると察せられるのである。つまり、(36) は、形容詞に形容詞補文が続いた構文と考えられる。

- (35) Jentera tersebut berpusing dengan cepatnya.
(その歯車はすばやく回転する)
- (36) Dia cepat membuat keputusan.
(彼は決断が速い)

pandai (賢い, うまい, 上手な) という語は、*cepat* とは異なるパラダイムを示す。*pandai* は (37) の様に、動詞の前には現れるが、(38), (39), (40) が非文であることから分かる様に、動詞の右には現れない。即ち、動詞の右の領域には、*pandai,dengan pandai,dengan pandainya* の孰れの形でも現れない。

- (37) Ibu pandai memasak kari ayam.
(母はチキンカレーを作るのが上手いです)
- (38) *Ibu memasak kari ayam.pandai
- (39) *Ibu memasak kari ayam. dengan pandai
- (40) *Ibu memasak kari ayam. dengan pandainya.

pandai は、*cepat* と同じく、後に補文を従える形容詞 (37 の如く) だが、副詞としての使い方がないので、動詞の右の領域には出られないと言える。

次の例に於ける *kuat* も形容詞であり、それに続く部分は補文であると考えられる。

- (41) PENYAKIT jantung masih menjadi pembunuhan utama rakyat Malaysia. Banyak sebab yang menyumbang senario ini dan antara faktor utama tabiat rakyat Malaysia yang malas bersenam dan kuat merokok selain faktor genetik.
(心臓病は依然としてマレーシア人の主要な死因となっている。心臓病を引き起こす引き金となるものは様々な要因が考えられるが、主要なファクターとしては、遺伝的な要因以外に運動嫌いで、タバコ好きであることが挙げられる)

(Berita Harian Online 7/4/2005)

そして、(42) の様に、*dan tabiat rakyat Malaysia yang malas bersenam dan kuat merokok selain*

faktor genetik の部分を次の様に書き換えることはできない。dengan kuat は、「強く」という意味になってしまうからである。

- (42) * ...tabiat rakyat Malaysia yang malas bersenam dan merokok dengan kuat selain factor genetic.

dengan kuat は、次の様な文脈で使われる。

- (43) Tekan dengan kuat pada setiap sudut yang mempunyai penyerap hentak dan lepaskan.
(衝撃を吸収する仕組みになっている四隅を強く押して、そして手を離してみよ)

(Berita Harian Online 17/3/2005)

又、kuat は「一生懸命」という意味でも用いられるが、その時は、次例に見られる様に、動詞の後の位置を占める。

- (44) Pasti sesetengah pembaca buku ini akan terkejut dengan kenyataan pengarang bahawa strategi belajar kuat dan kerja kuat tidak lagi relevan dalam era globalisasi ini tetapi mereka dibekalkan hujah yang mengajak pembaca untuk menerima hakikat itu。
(きっとこの本の読者の中には著者が一生懸命学び、一生懸命働くというやり方はこのグローバル化の時代にはそぐわないと言っているのに驚かれる方もいるかもしれないが、著者は読者がそういう現実を受け入れる論拠というものを持ち合わせているのである)

(Berita Harian Online 7/4/2005)

以上の事から言えることは、動詞の前の位置を占めるというだけでは、その語が、副詞であるということにはならず、動詞の右の位置を占めることができて、初めて、その語が副詞としての十全な資格を備えていることの証左となるのである。この動詞の右の領域は、副詞としての資格を持ったもののみが現れる所以である。動詞の左に於いては鶴的であったものが、この領域に現れる時には、形式的にも副詞であることが分かる装束で現れる。副詞であることが分かる装束としては、dengan+副詞、dengan+形容詞+nya があつたが、副詞であることを示す装束はこれだけではない。形容詞を重ねる形も、このための手段として使われる形である。例えば、baik (良い) はこの形で使われた時は、形容詞であるが、この疊語形、即ち baik-baik (よく) の形で使われた時は、副詞として機能する。体に気を付けてという意味を表すマレーシア語は、(45) の様になる。

- (45) Jaga dirimu baik-baik.

(体に気を付けて)

そして、*baik* は先程述べた如く、形容詞なので、同じ意味のことを次の様に言うことはできない。

- (46) *Baik jaga dirimu.

この文は、「体に気を付けることは良い」という解釈では認められる文であるが、(45)と意味的に等価にはならない。*rajin* は形容詞と副詞の用法を兼ね備えた語であり、(47) の様に、此の儘の形で動詞の前に現れることもできるが(48)の様に、動詞の右の領域に現れる時には、*rajin-rajin* というはつきりと副詞であることが分かる装束で現れる。

- (47) Rajinlah belajar supaya menjadi orang berguna.

(有為の人となるべく勉学に勤しみなさい)

- (48) Belajarlah rrajin-rajin supaya menjadi orang berguna.

(有為の人となるべく勉学に勤しみなさい)

3. 複数の位置を取り得る副詞

3-1. 時の副詞

時の副詞は、通常文尾に置かれる。例えば、次例に於ける *semalam*（昨日）が占めている位置が無標の位置である。

- (49) Seramai 637 pendatang tanpa izin dan seorang lelaki rakyat tempatan dan wanita warga Indonesia berstatus pemastautin tetap negara ini, ditahan pada hari pertama Ops Tegas , semalam.

(637人の不法滞在者とマレーシア国籍の男性一人、それに永住権を持つインドネシア国籍の女性が一人不法滞在者一掃作戦の初日の昨日身柄を拘束された)

(Berita Harian Online 2/3/2005)

次の例ではこれとは対照的に、時の副詞である *Khamis lalu*（去る木曜日）がパラグラフの頭に立っている。

- (50) Najib berkata , kerajaan akan meneliti sama ada wujud system lain yang sukar diseleweng atau lebih berkesan bagi memastikan pemberian subsidi diesel tidak disalah guna. Khamis lalu , Berita Harian melaporkan sekurang-kurangnya 40 peratus daripada 2,900 stesen minyak di seluruh negara , disyaki menjadi dalang kegiatan penyelewengan diesel,termasuk penyeludupan sehingga jumlah jualan subsidi bahan itu.

(ナジブ氏は、政府はディーゼルオイルの援助配給制度が悪用されないようにす

る為に、悪用されない、もっと有効な制度があるかどうか検討をする予定であると語った。去る木曜日に、ブリタニア紙が述べた如く、少なくとも、全国 2900 あるガソリンスタンドの 40 パーセントの店舗が援助配給制度の割り当て額までディーゼルオイルを違法に入手したりと言った様な不正行為の黒幕となっていると考えられている)

(Berita Harian Online 15/1/2005)

時を表す副詞がこの様な位置を占めるのは、前のパラグラフの主語と異なる人や、物が登場する場合である。即ち、先行するパラグラフの話題とは異なる話題への転換が起こる場合といえる。この様な場合、いきなり、新たな主語で文が始まると、唐突の感を否めない。それで、時の副詞を謂わば場面の切り替えの機能を有する主題として立てたのである。記憶のスケジュール帳を繰る場合、月日や時間という見出しを手掛かりにするように、場面の切り替えにきわめて自然に使われる見出しが時間軸に関係する表現であるので、これらの時間表現は場面設定の主題となり得るのである。

時間の副詞は、しかし乍ら、これ以外の位置にも現れる。それは、次の例に見られる様な主語と動詞の間に割り込む形で現れる場合である。

- (51) Mahkamah Rayuan di sini semalam, menangguhkan kepada Isnin depan rayuan pemandu bas ekspres yang dihukum gantung sampai mati kerana menyebabkan kematian seorang jurutera computer wanita empat tahun lalu.
(当地に於ける上告審は昨日、4 年前女性のコンピューター技師を死亡させた年絞首刑の判決が言い渡されている高速バスの運転手が求めた控訴審を来週の月曜日まで延期する旨の発表をした)

(Berita Harian Online 2/3/2005)

時間の副詞は、通常、主語と述部の間に割り込むことはない。例えば、前述の (49) の文の最後尾に現れる *semalam* を (52) の様に、主語と述部の間に移すと、かなり奇異な感じの文となる。

- (52) ??? Seramai 637 pendatang tanpa izin dan seorang lelaki rakyat tempatan dan wanita warga Indonesia berstatus pemastautin tetap negara ini, aemalam ditahan pada hari pertama Ops Tegas .

では、(51) の文は何故奇異な感じの文と感じられないのかということが改めて問われなければならない。このことに対する答えは、逆に *semalam* を無標の位置、即ち、文尾に置くことによって自ずと解決が得られる。(51) に於ける *semalam* を文尾に置くと次の様になる。この文は、非文という訳ではない。そうではなくて、*semalam* が、主文に属するのではなくて、すぐ上の天井である、*kerana* 節に属する副詞であるという、意図せざる読みに

なってしまうからである。

- (53) ??? Mahkamah Rayuan di sini menangguhkan kepada Isnin depan rayuan pemandu bas ekspres yang dihukum gantung sampai mati kerana menyebabkan kematian seorang jurutera computer wanita empat tahun lalu semalam.

次の文に於いても、時の副詞である *semalam*（昨日）は、主部と述部の間に割り込んでいる。

- (54) Indonesia semalam bersetuju mengurangkan bayaran Rp2.99 juta (RM1,280) yang dikenakan sekarang bagi menguruskan kemasukan semula pekerjanya menerusi program pengampunan kepada Rp1.2 juta (RM500) sahaja.

(インドネシアは昨日出稼ぎ労働者が特別措置法によって再入国する際の手続き費用として現在支払っている 299 万ルピア (1280 リンギット相当) を 120 万ルピア (500 リンギット相当) に引き下げることで同意した)

(Berita Harian Online 5/3/2005)

この場合、もし *semalam* が文尾に置かれていると、*semalam* は *bersetuju*（同意する）の補文 (*mengurangkan* から *pengampunan* まで) にある副詞と解釈されるという不都合が生じるので、それを避ける為の自律的な調整が掛かった為である。時の副詞が主部と述部の間の有標の位置に現れる条件を簡略化して言えば、もし時の副詞を文尾に置いた場合、主部と *semalam* の間に CP が介在する場合と言える。そして、主部と時の副詞を隔てる CP が補文であるか、従属節であるかの差異はこれに関与しない。これと対照的なケースが次の様な例における時の副詞 *awal pagi semalam*（昨日の早朝）の位置である。

- (55) Seorang penjenayah dikenali Man Power yang diburu polis sejak dua tahun lalu kerana terbabit dalam lebih 30 rompakan dan samun bersenjata di tujuh negeri, ditahan di Bandar Baru Salak Tinggi di sini, awal pagi semalam.

(7 つの州で 30 以上の強盗事件と武器による恐喝事件に関与した廉で 2 年前から警察に指名手配されていた通称 Man Power なる犯人が昨日の早朝、当地のバンダーバル・サラ・ティンギで捕まった)

(Berita Harian Online 5/3/2005)

この例は、一見すると、主部である *seorang penjenayah dikenali Man Power*（通称 Man Power として知られている犯人）と、時の副詞である *awal pagi semalam*（昨日の早朝）との間に *kerana* と *yang* という 2 つの CP が介在している構造に見えるが、*yang* 節も *kerana* 節も *seorang penjenayah dikenali Man Power* という主部を修飾している構造、即ち、主部に修飾要素が付くことによって、長くなっているだけである。そして、この長い主部と *awal pagi semalam*

との間には、何の CP も介在していないので、こういう場合は文尾に置かれても、誤解を生じる虞がないので、この位置で大丈夫なのである。

3-2. 接続副詞

それまで述べられてきた事柄とは違う事柄に話を移す際に使われる場面変換の接続副詞としては、 *sementara itu* (他方～), *dalam pada itu* (他方～), *bagaimanapun* (一方, しかし乍ら) がある。これらの中、*bagaimanapun* 以外は、文頭、しかも通常は、新しいパラグラフの文頭の位置に現れる。次は *sementara itu* がパラグラフの頭に現れた例である。

- (56) Badrul Hisham berkata, pihaknya menemui banyak kelongsong peluru milik penyerang bertaburan di atas laut, terutama bahagian anjungan bot tunda itu. Sementara itu, Timbalan Ketua Jabatan Siasatan Jenayah Perak, Suprintenden Abdul Rahman Hashim, berkata pihaknya menyiasat kejadian berkenaan.

(バドルウル・ヒシャムは、船底、特に船尾の部分に海賊のものと思われる沢山の薬莢が散乱しているのを我々は確認したと語った。一方、ペラ州犯罪捜査局副局長であるアブドゥルラーマンハシム)

(Berita Harian Online 2/3/2005)

それに対し、*bagaimanapun* は、文頭にも、主部と述部の間の位置にも現れる。次の例を参照されたい。

- (57) Insiden Jumaat lalu menyaksikan Sgrena cedera manakala Calipari terbunuh. Kejadian itu menyebabkan hubungan di antara Amerika dan Itali tegang. Jabatan Negara AS, bagaimanapun, berjanji akan melakukan penyiasatan rapi bagi menyiasat insiden berkenaan. Tentera AS berkata, pihaknya sudah memberi amaran yang memadai kepada pemandu kereta Sgrena. Bagaimanapun kereta itu bergerak pada kadar yang sangat laju ketika tentera AS menembak mereka.

(去る金曜日の事件では、スグレナさんは負傷し、カリバリさんは死亡した。この事件でアメリカとイタリアの関係は緊張した。一方、米国国務省は事件の解明に向けて徹底した調査を行うと表明した。米軍は、スグレナさんが乗った車に対して前もって警告を出していたと語った。併し乍ら、その車は猛スピードで走り去ったので、アメリカ軍は銃撃を加えたのだと言う)

bagaimanapun が、主部と述部の間の位置を取る時、*bagaimanapun* はそれより左の主題に道を明け渡して、それ自身は目立たない位置に置かれる、この主部と述部の間の位置は、その出現の頻度が低いので、有標の位置であるが、この位置に置かれた *bagaimanapun* に何らかの強調の意味が付加されるということではなく、主題に道を譲って、挿入句的な位置に落ちたと言える。そして、*bagaimanapun* の左に来られる名詞句は、主題となり得る名詞句で

なければならない。即ち、定名詞句か、若しくは、固有名詞でなければならないという制約がある。この制約からすると、(57) の最後の文は、kereta itu（その車）を主題の位置に据えて (58) の様にすることが可能である。

- (58) Kereta itu, bagaimanapun, bergerak pada kadar yang sangat laju ketika tentera AS menembak mereka.

しかし乍ら、次の文の salah seorang pekerja lelaki itu yang bertugas sebagai kerani di pejabat pusat beli belah itu（そのショッピングセンターで店員をしている男の店員の一人）という名詞句は、上記の制約にあわないので、bagaimanapun を超えて、左に位置することはできない。

- (59) Bagaimanapun, salah seorang pekerja lelaki itu yang bertugas sebagai kerani di pejabat pusat beli belah itu berkata, beliau sebenarnya tidak berminat untuk dijadikan hadiah.
(しかし乍らそのショッピングセンターで店員をしている男の店員の一人は、本当の所、自分は景品として自分を提供する気はないと語った)

(Berita Harian Online 15/3/2005)

又、(60) の様に、bagaimanapun の直後に、主語ではなく、従属節が続く場合にも、bagaimanapun を主節の前の位置に動かした (61) の様な文は認められない。

- (60) Bagaimanapun, meskipun ramai wanita yang layak, hanya tiga orang saja yang mengambil peluang membawa lelaki terbabit pulang. Pusat beli belah di bandar Guangzhou itu memilih sepuluh pekerja lelaki paling kacak dan ringan tulang untuk menyertai promosi itu, lapor Southern Net.
(しかし乍ら、多くの女性がその資格を有しながら、景品の男性を実際に連れて帰ったのは、たったの 3 人でした。その広州にあるショッピングセンターは最もハンサムでまめな 10 人の男の店員を、キャンペーンの景品として選んだと、ザサンネットは報じている)

(Berita Harian Online 15/3/2005)

- (61) *Meskipun ramai wanita yang layak, bagaimanapun, hanya tiga orang saja yang mengambil peluang membawa lelaki terbabit pulang. Pusat beli belah di bandar Guangzhou itu memilih sepuluh pekerja lelaki paling kacak dan ringan tulang untuk menyertai promosi itu, lapor Southern Net.

3-3. 確信の副詞

tentu(-nya)や pasti は、「確かに」、「言うまでもなく」の意味で、話者の確信を表す副詞で

ある。これらの副詞は、前章で扱った接続副詞と同じく、前よりの位置を占める副詞である。次はその例である。

- (62) Tentunya perpecahan sebuah negara Islam amat dinantikan kuasa penakluk dan penjajah seperti Amerika yang suka melihat dunia Islam terus berpecah.

(言うまでもなく、イスラム国の分裂は、イスラム世界が分裂した儘であることを願っているアメリカの様な統治国や支配国の願うところであった)

(Berita Harian Online 15/3/2005)

- (63) JIKA anda peminat filem Harry Porter, anda tentu suka menyaksikan filem ini.

(あなたがハリーポッターの映画のファンなら、当然この映画を観たいと思うでしょう)

(Berita Harian Online 15/3/2005)

tentunya と *pasti* は、前章の接続副詞と同じく、主題に文頭の位置を明渡すことができる。その際、文頭に出る主題は、定名詞か固有名詞である必要がある。代名詞は、いきなり出現しても、その指示対象が曖昧であるということはないので、その意味に於いて、固有名詞と同じに扱って差し支えないと思われる。従って、次の文に於ける *mereka* を、文頭に出すことが可能である。

- (64) “Lagipun, banyak anak muda yang merantau sudah balik kampung dan tinggal bersama ibu bapa masing-masing. Apabila berkahwin dan ada keluarga sendiri, tentu mereka mahu bina rumah baru tetapi kawasannya tidak mencukupi,” katanya.

(その上、海外に行っていた多くの若者達が両親のいる故郷に帰ってくるからだ。そういう若者達が結婚して家族が増えて、家を新築しようとしても、充分な土地がないという状況だ)

(Berita Harian Online 15/3/2005)

3-4. 判断の副詞

文で述べられる事柄に対する話者の判断を表す副詞には、*malangnya*（不幸なことに）、*nasib baik*（幸運なことに）があり、これらの副詞は、文頭の位置しか取らない。

- (65) “Malangnya, hari ini orang Melayu telah berpecah kerana hasutan Pas,” katanya.

(不幸なことに、今日マレー人は回教党によって唆されて、分裂してしまっている)

(Berita Harian Online 9/3/2002)

- (66) Apa yang memilukan ialah apabila cucunya menyatakan “nasib baik saya tak mati, kalau tidak ibu kena penjara.”

(身につまされるのは、孫が「運良く死ななかつた。もし死んでたらお母さん刑務所に入らなきやならなかつたもん」と言った孫の言葉である)

(Berita Harian Online 15/12/2002)

3-5. 客観的事実の主張に使われる副詞

「実際（に）は」の意味で、相手の誤解を訂正する目的で、或は、相手の知らない情報を与える目的で、客観的事実を提供する際に使われる副詞として、*sebenarnya* がある。この副詞は、(67) の様に、文頭の位置が無標の位置である。

- (67) Sebenarnya 10 tahun lalu kita boleh mendapatkan batik lepas Kelantan pada harga RM2 atau RM2.50 sehelai,” katanya.

(実際には、10年前には、クランタン産のバテック地を1枚2リンギか2リンギ半で買うことができたのです)

(Berita Harian Online 26/2/2005)

この副詞は又、「しかし」という意味の接続詞である *tetapi* や *tapi*と一緒に現れることも多い。次はその例である。

- (68) Tapi sebenarnya, warisan Baba dan Nyonya bukan sekadar kebaya pendek yang diadaptasi daripada kebaya warisan Melayu tetapi juga merangkumi hampir semua aspek kehidupan termasuk adat dan seni bina.

(実際にはババニヨニヤ文化（マレー人と結婚した中国人の文化）の伝統というものは、マレー人のクバヤを短くした衣服の文化に留まらず、風俗や、建築様式も含んだ、生活のほぼ全域に及んでいるのである)

(Berita Harian Online 13/2/2005)

この副詞は、前に述べた接続副詞の *bagaimanapun* と同様、有標の位置として、主題の後ろにも現れる。(69), (70) はその例である。

- (69) Pewter sebenarnya melalui lima proses sebelum menjadi produk hiasan rumah yang menyenangkan kediaman anda. Bermula dengan casting, ia akan melalui proses menggilap sama ada menggunakan mesin atau cara manual sebelum proses cantuman, mengukir dan mengetuk mengikut corak dan motif.

(ピューターは、実際には、あなたの家を引き立てる装飾品となるためには、5つのプロセスを経て完成するのです。鋳型作りに始まって、機械或は手を使っての研磨作業、でこぼこを平らにする作業、下絵を描く作業、そして、描かれた柄やモチーフに沿って彫る作業というプロセスです)

(Berita Harian Online 10/10/2004)

- (70) Sebuah teater kecil, yang menggunakan belanja yang bukan ratusan ribu pun sebenarnya boleh mempunyai mutu yang tinggi.

(10) 万リンギという膨大な予金を費やして作られたのではない小規模な劇場でも質の良い出し物を演っているものはある)

(Berita Harian Online 13/3/2005)

(69) の *sebenarnya* の前にある *pewter* は、一般的にピューターというものの意、即ち、総称的な用法であり、主題としての資格を得ることができる名詞句である。(70) の *sebenarnya* の前にある *sebuah teater kecil*（小規模の劇場）は、特定的な不定名詞句ではなく、「一般的に小規模な劇場というものは」の意で、これも、総称的な用法であり、主題としての資格を得ることができる名詞句である。

sesungguhnya も、「実際は」、「実は」の意味で標の位置として、(71) の様に、文頭に置かれるが、(72) の様に、主題の後の有標の位置に置かれることもある。

(71) Kini kita berada di alam dunia. Sesungguhnya kewujudan di alam dunia ini bukan untuk berhibur, tetapi memikul amanah Allah untuk beribadat kepada-Nya.

(今私達はこの世に生きている。私達がこの世に生きているのは、本当は楽しむ為にではなく、アッラーのを信ずるという神から託された義務を果たす為なのである)

(Berita Harian Online 11/3/2005)

(72) Namun demikian, sangkaan itu sesungguhnya jauh menyimpang.

(しかし乍ら、その推測は実際には真実からは可也かけ離れたものなのです)

(Berita Harian Online 6/2/2005)

sebenarnya の場合と同じく、*sesungguhnya* の右に出られる名詞句は、主題としての資格を有しているというのが条件である。このことは、(72) の例文で、*sesungguhnya* の左の名詞句に限定詞が付いていることからも分かる。

3-6. 頻度の副詞

頻度の副詞としては、*kadangkala*（時々）、*kerap* (*kerap kali*)（屡、頻繁に）がある。これらの頻度の副詞は、前章で扱った客観的事実の主張に使われる *sebenarnya* や *sesungguhnya* と同様、文頭の位置にも、主題の後の位置にも現れ得る。(73) は、*kadangkala* が文頭の無標の位置に現れた例であり、(74) は節頭に現れた例である。(75) は、主題の後ろの有標の位置に現れた例である。

(73) Kadangkala macam-macam mereka mahu tukar sedangkan ada alat ganti yang masih boleh berfungsi.

(時には、彼等は何でもかんでも取り換えようとするのです。未だ充分使えるものであっても)

(Utusan Malaysia Online 25/2/2005)

- (74) Kita tidak cakap berterus terang, kita bercakap dengan bersopan santun tetapi kadangkala ia dianggap sebagai satu kelemahan.

(私達はストレートに物を言うことをせずに、礼儀正しい物の言い方をする。しかし、時にはこれが私達の欠点と看做されることもあるのである)

(Utusan Malaysia Online 28/2/2002)

- (75) Yusri Norhamin, 25, berkata pengusaha bengkel kadangkala menukar alat ganti yang tidak sepatutnya tanpa pengetahuan pemilik kenderaan bagi menaikkan harga bayaran.

(ユスリ・ノルハミン 25歳が語って言うには、修理工場の経営者というのは、高い金額を要求する為に、車の持ち主には相談せずに本当はそうする必要のない部品を交換したりすることは間々あることだという)

(Utusan Malaysia Online 25/2/2002)

(75) で、*kadangkala* の左にある名詞句は、「修理工場の経営者というものは」という意味で、総称的な使い方であり、主題になる資格を持った名詞句である。(74) は、*kadangkala* が節頭に現われている文であるが、主語はこの場合、「そういう事」という意味の代名詞である。代名詞は、前にも述べた通り、固有名詞と同じ扱いができる名詞であるので、主題になる資格がある名詞句である。それであるから、この *ia* という代名詞を主題にして、次の様な文にすることも可能である。

- (76) Kita tidak cakap berterus terang, kita bercakap dengan bersopan santun tetapi *ia* kadangkala dianggap sebagai satu kelemahan.

3-7. 様態の副詞

3-7-1. *tiba-tiba*

様態の副詞である *tiba-tiba* (急に) は、無標の位置として、(77) の様に、動詞の前の位置か、若しくは、(78) の様に、動詞の後の位置を占めることができる。そして、(79) の様に、動詞の後の位置に現れるときは、*dengan tiba-tiba*, *secara tiba-tiba* という前置詞の支えを借りた副詞句の形で現れるのが普通である。

- (77) Malangnya hujan tiba-tiba mencurah dengan petir sambar menyambar hingga berlaku banjir.

(生憎なことに、雨が雷を伴って降ってきたそしてやがて洪水になってしまった)

(Berita Harian Online 18/3/2005)

- (78) Dan dalam keadaan lain pula, ketika suis kontak starter diputar, enjin dapat berfungsi tetapi tidak berjalan dengan baik dan kemudian mati dengan tiba-tiba.

(そして、別のケースとしては、スターターを回してエンジンが始動したが、調子が悪く、やがて急に止まってしまうことがある)

(Berita Harian Online 1/8/2004)

- (79) Sementara itu, Norhidayah berkata, perasaannya menjadi tidak tenteram secara tiba-tiba apabila melihat angin bertiup kencang dan daun pokok banyak gugur dalam kolam.

(一方、ノルヒダヤは、強い風が吹いて、木の葉が池に散るのを眺めて、気も漫ろになったと語った)

(Berita harian Online 17/3/2005)

又、次の例では、*tiba-tiba* が、別の様態の副詞である *terus* (すぐさま、其の儘) と一緒に現れている。この例から分かることは、*tiba-tiba* は他の様態の副詞より左側に現れるということである。

- (80) “Ini sedikit sebanyak membantu saya, tetapi sebenarnya saya berasa gagal menjiwai adegan itu. Anda baru kenal seseorang dan tiba-tiba terus berbogel dan melakukannya,” katanya.

(このことは多少なりとも私の役に立った。しかしそのシーンを自分の気持ちを込めて演じることはできなかった。だって、いきなり見ず知らずの人に会ってすぐ、裸になってセックスをするという設定なんですから)

(Berita Harian Online 16/3/2005)

tiba-tiba は、これらの位置以外に、文頭の位置も取り得る。(81), (82), (83), (84) はその例である。(82) では、*tiba-tiba* は更に、*saja* という強勢辞によって修飾されている。文頭の位置に *tiba-tiba* が現れる時には、この例に於ける様に、強勢辞を伴う場合が多い。このことから、文頭の位置に現れる時には、強調の意味が加わる有標の位置と言える。(84) は、後続する主節の頭に *tiba-tiba* が現れている例である。

- (81) “Tiba-tiba saya dengar orang menjerit. Saya nampak dua sepupu saya timbul di tengah kolam dewasa manakala Mohd Azaharie terjun ke dalam kolam itu untuk mencari adik bongsu kami,” katanya.

(突然私は人の叫び声を聞いた。古い池の真ん中に私の二人の従兄弟の体が現れた。一方、モハマッドアザハリは私達の末っ子の弟を捜そうと水に飛び込んだ)

(Berita Harian Online 17/3/2005)

- (82) Tuah ikan – itulah yang boleh dikatakan apabila menyelami sejarah Pulau Moreton iaitu antara pulau pasir yang terluas di dunia. Tiba-tiba saja sepasang ikan lumba-lumba datang ke tepi pantai setiap petang.

(魚の天国—世界で一番広い砂浜を持つ島の一つであるモレトン島の海に潜つてみると、正にこの言葉がぴったりだった。夕方になると、どこからともなく海豚が番で現れるのだった)

(Berita Harian Online 26/2/2005)

- (83) "Satu hari, saya, kakak, emak dan emak saudara sedang menumbuk padi. Tiba-tiba dari jauh nampak askar Jepun datang, depa semua lari dan suruh saya seorang tunggu di situ.

(或る日、私、姉、母、そして叔母で脱穀をしていました。そこに、遠くの方から、突然日本兵が来るのが見えたのです。彼等は皆逃げたのですが、私だけそこに残されたのです)

(Berita Harian Online 19/3/2005)

- (84) Ketika memecut laju melewati kawasan Bukit Mahkota, tiba-tiba sebuah teksi yang datang dari arah Seremban memberikan kelipan lampu tinggi.

(ブケ・マコタの辺りをぶつ飛ばしていると、スルンパンの方角から一台のタクシーが、ランプを点滅させ乍らやってきた)

(Berita Harian Online 3/10/2004)

これらの例の中、不定表現の主語が現れる (82), (83), (84) の全てに於いて、tiba-tiba が文頭に現れていることが分かる。このことから、不定表現が主語の時には、様態の副詞 tiba-tiba は、文頭の位置を占めると言える。

例 (77), (80) から、tiba-tiba が動詞の前の位置を占め得ることは、明らかだが、助動詞との位置関係はどうであろうか。これに就いては、次の例が答えを与えてくれる。即ち、この例より、助動詞の後で、動詞の前の位置を占めることが明らかとなる。

- (85) Biasanya, apabila proses mampatan dapat berjalan lancar, enjin tidak akan secara tiba-tiba rosak. Justeru, kerosakan harus dicari pada sistem penyaluran petrol dan sistem penyalaannya

(通常、ガソリンが熱に転換されるプロセスが円滑に行われば、エンジンが突然故障することはないのである。それであるから、故障の原因は寧ろ、ガソリンのをエンジンに送る装置とか、発火装置に求められるべきである)

(Berita Harian Online 1/8/2004)

3-7-2. laju

マレーシア語に於いては、名詞を修飾する語が、其の儘の形で、動詞も修飾することが多い。即ち、英語に於ける形容詞と副詞の区別の様なものが、ないことが多い。マレーシア語に於いては、英文法的な意味での形容詞は、その殆どが用言の修飾にも使われることから、マレーシア語の文法書では、副詞という独立した語類を立てない場合が多い。形容詞として使われるが、其の儘の形では副詞として使われない数少ない例の一つが、前に扱った lebat という形容詞である。(86) に於ける lebat は、先行する名詞の hujan (雨) を修飾しているのであって、動詞の turun (降る) を修飾する副詞としては働いていないのである。そして、こういうケースでは、動詞を修飾するには、(87) に見られる如く、dengan + 形

形容詞 + -nya という副詞句が使われる。

- (86) Hujan lebat turun tadi pagi.
(昨晩激しい雨が降った)
- (87) Hujan turun dengan lebatnya tadi pagi.
(昨晩雨が激しく降った)

laju はこのケースとは対照的に、同じ形で、形容詞的にも、副詞的にも使われる語である。(88) では、laju はその前の動詞の bergerak (走っている) を修飾する副詞として働いているのに対して、(89) では、laju は bot (ボート) という名詞を修飾する形容詞として働いているので、「パラシュートがボートによって速く引っ張られる」という解釈は、この場合成り立たないのである。パラセイリングというものが、スピードボートによって引っ張られるものであるということが、明らかだからである。

- (88) Tiba-tiba sebuah kereta yang cuba mengelak sebuah kenderaan dari arah Banting melanggar Ashley yang ketika itu dipimpin datuknya menyebabkan anak saya terjatuh atas kereta yang bergerak laju itu sebelum tercampak beberapa meter ke atas bahu jalan,” katanya
(突然バンティンからの車を避けようとした一台の車が偶々彼のおじいさんが運転していたアシュレイに衝突し、その飛ばしていた車の上に落ち、2、3メートル跳ね飛ばされて路肩に投げ出された)

(Berita Harian Online 21/3/2005)

- (89) Di sana, pelbagai aktiviti sukan air disediakan seperti snorkeling, menyelam skuba, parasailing (payung terjun ditarik bot laju) dan banana boat ride.
(そこには、シュノーケリング、スキュバ・ダイビング、パラセイリング（落下傘をスピードボートで引っ張るスポーツ）といった様々な水上スポーツが用意されています)

(Utusan Malaysia 9/12/2004)

今見てきた laju の様に、形容詞としても、副詞としても使われる語が、動詞の右に現れる場合には、形容詞としての機能ではない、即ち副詞としての機能でそこに現れているということをはつきりさせるという理由で、dengan + 副詞という副詞句の形を取ることが多い。次は、その例である。

- (90) Katanya, polis kemudian mengarahkan pemandu kereta berkenaan memberhentikan kenderaannya tetapi tidak diendahkan sebaliknya kereta itu terus memecut dengan laju sambil melepaskan tembakan ke arah polis.
(彼が語った所に拠れば、その後警官はその車を運転手いている者に車を止める

様命じたが、その車はその警告を無視し、警官目がけて発砲し乍ら、走り去った)

(Utusan Malaysia Online 24/7/2004)

しかし乍ら、現れる環境は、(90)と同じく、動詞の右側の領域であるが、(91)では、*dengan*の付かない形が現れている。*dengan laju*の形は、形容詞との区別をするという役目があると考えられるが、(91)に見られる様に、*laju*だけの形が何故許されるのかに就いて、考えてみる必要がある。この環境では、*dengan laju*も、*laju*も両方の形が現われ得るということでは、この文法現象を、正しく説明したことにはならないと思われる。

- (91) Menurut Ming Pow, rakannya, Chen Chi Sia, wartawan dari akhbar yang sama dan menaiki bas lain memberitahu, bas malang itu mungkin dipandu laju sebelum terbabas dari lebuh raya itu.

(ミン・パオに拠れば、別のバスに乗っていた同じ新聞社の同僚であるチェン・チ・シアが語って言うには、事故を起こしたバスは多分スピードを出してハイウェイから転落してしまったのではないかということだった)

(Utusan Malaysia Online 6/5/2002)

この問題を考える際の鍵となるのは、(91)が人称形で現れているということである、この構文は、目的格焦点化構文とも呼ばれるように、ME—動詞とは異なり、その直後の名詞句に目的語を付与する能力を失った為に、被動者は動詞の直後の位置に縛られなくなった。直後の名詞句に、もはや、目的格を付与しなくなったという点に於いて、英語の受動形と同じく、自動詞と同列に扱ってもよい形になった。つまり、(90)と同様、直前に名詞句がないので、この後ろに*laju*が置かれても、*laju*が直前の名詞句を修飾する形容詞と見間違われる虞がないということである。それで、*laju*は、安心して、此の儘の形で現れることができるという訳である。(90)には、*memecut*（飛ばす）という動詞が現れているが、主語が*kereta itu*（その自動車）であることから、この動詞は、自動詞として使われていると考えられる。しかし乍ら、次の例の様に、この動詞は他動詞としても使われるという事実がある。

- (92) Dia lalu memecut keretanya dengan perasaan geram.

(そして、彼は怒りをぶつけるかの様に車をぶっとばしたのだった)

(Kamus Komputer Telapak)

もし、(90)の*memecut*を、*memecut kereta*とすれば、この*memecut*は*kereta*を目的語として取る他動詞であることが明らかである。こういう環境では、*laju*の直前に*kereta*という名詞句があるので、*laju*は形容詞ではないということをはつきりさせる必要があるので、この位置では、次例の如く*dengan laju*という副詞句の形でなければならない。

- (93) Katanya, polis kemudian mengarahkan pemandu kereta berkenaan memberhentikan kenderaannya tetapi tidak diendahkan sebaliknya terus memecut kereta dengan laju sambil melepaskan tembakan ke arah polis.

翻って、(90) を見てみると、memecut の後に何の名詞句もないのに、この memecut は自動詞として使われていると考えられる。そして、この場合には、laju だけの形であっても、形容詞として、扱われる懼れがないので、laju だけでも構わない。

laju は、次の例の如く、文頭の位置も取り得るが、こういう場合には、何らかの強勢辞を伴うのが普通である。(94) では、sekali という強勢辞と共に現れている。

- (94) Laju sekali dia memandu keretanya.
(猛スピードで彼は車を走らせた)

通常強勢辞と共に現れるという事実から、この文頭の位置は、有標の位置と看做される。これ以外に、laju の取る有標の位置としては、他動詞とその目的語の間の位置がある。例えば、次の様な例に見られる laju の位置がそれである。

- (95) Dia memandu dengan laju kereta polis yang dicurinya dari belakang pekarangan pondok polis malam semalam.
(昨晩派出所の裏庭から盗んだパトカーを彼は暴走させた)

併し乍ら、この位置に、laju は無条件で来られる訳ではない。例えば、次の文は非文となる。

- (96) * Dia memandu dengan laju keretanya
(彼は車を飛ばした)

(96) が非文となるのは、様態の副詞句は、通常、他動詞とその目的語の間に割り込む形で入るのは許されないという制約によるからである。それにも拘らず、(95) が排除されないのは、他動詞の目的語が長いという理由によるものである。(95) で、dengan laju という副詞句を通常の配置に従って、目的語の後、即ち、yang ··· malam semalam の後に置くと、dengan laju という様態の副詞が動詞 memandu (運転する) から離れてしまう。こういう事態を避けようとする傾向が、動詞と目的語が切り離されることを避ける傾向に勝っていると言える。様態の副詞は、動詞との意味的な結びつきが最も強い副詞であるから、動詞の近くの位置を占める傾向があるのは、自ずと理解されるのである。

3-7-3. terus

terus は、動詞の前に置かれた時には、①そのまま、②～し続けるという意味のいずれかの意味で使われ、動詞の後に置かれた時には、②の意味、即ち、～し続けるの意味で使われる副詞である。この様態の副詞は、二つの点で、*laju* とは異なる。

相違点の一つは、*laju* は有標の位置として、文頭の位置を取ることができるのに対して、*terus* は、この位置をとらないという点である。しかし、これには、留保条件を付けなければならない。それは、*terus* は、*terang* と一緒にになって、「率直に言えば」という意味で使われる場合には、文頭の位置を占めるということを述べておく必要がある。次は、その様な例である。

- (97) Terus terang saya katakan saya tidak mempercayai sekadar cop logo halal, sesiapa saja boleh tiru kerana perkara ini sudah lama berlaku.

(率直に言って、唯ハラルという表示があるからと言って、俄かにそれを信じるかと言えば、そんなことはない。誰だって偽の表示を貼るということが考えられるからだ。今までだってそういうケースは一度や二度ではなかったからだ)

(Berita Harian Online 22/3/2005)

laju との相違点のもうひとつは、*terus* は、前置詞の *dengan* と一緒に現れる形が無いと言うことである。例えば、次の (98) に於ける *terus* を *dengan terus* で換えた (99) は非文となる。

- (98) Kita galakkan graduan ini membayar pinjaman balik supaya kita boleh terus memberi pinjaman kepada pelajar lain. Biar pun sedikit, janji mereka bayar balik.

(我々はとしては、これらの社会に出た人間に對して、借りた奨学金を返すよう説得に努めるつもりである。他の学生に對してこれからも、奨学金の貸与を継続して行うためには、そうすることが必要なのである。額は小額であっても、必ず返すべきものなのであるから)

(Berita Harian Online 24/3/2005)

- (99) * Kita galakkan graduan ini membayar pinjaman balik supaya kita boleh memberi pinjaman dengan terus kepada pelajar lain. Biar pun sedikit, janji mereka bayar balik.

4. 動詞一体化副詞

上記 3.で観てきたのは、その取り得る位置が二箇所以上に及ぶ副詞であったが、ここでは、他動詞と目的語の間に割り込む位置にしか現われず、恰も他動詞と一体化して複合動詞の様に働く副詞に就いて考察することにする。他動詞とその目的語は緊密な結合をしていて、特別な理由がなければ、普通その間に何らかの要素が楔の様に入り込むということはない。そういう尋常ならざる配置を引き起こす特別な理由の一つを構成するのが、

動詞と一体化して、緊密な結合を構成する副詞である。こういう類の副詞を、動詞一体化副詞とここでは呼ぶことにする。このグループに入る副詞としては、*balik*（返す、戻す）、*semula*（再度）、*bersama*（一緒に）、*lagi*（更に）がある。次にそれらの例を示す。

- (100) KUALA LUMPUR: Kertas cadangan mengenai potongan gaji peminjam Perbadanan Tabung Pendidikan Tinggi Nasional (PTPTN) akan dibentangkan ke Kabinet tidak lama lagi sebelum dilaksanakan sebagai usaha terbaru memastikan peminjam membayar balik pinjaman mereka.

(クアラルンプール発：国立高等教育基金から貸付を受けている人の給料から天引きする旨の提案が間もなく国会に上程され、これにより、貸付を受けた人がちゃんと借金を返すようにするための新しく考えられた方策として機能することになる)

(Berita Harian Online 18/4/2005)

- (101) Kabinet mengarahkan Kementerian Perdagangan dalam Negeri dan Hal Ehwal Pengguna (KPDNHEP) mengambil semula tugas menguatkuasa peraturan berkaitan logo halal ,manakala Jabatan Kemajuan Islam Malaysia(Jakim) bertanggung jawab mengeluarkan sijil halal.

(内閣は国内商業消費担当省に対してハラルの認可表示に関する法律の施行を司る業務を復活し、ハラルの認可証の交付はマレーシア・イスラム推進局の管轄とする旨の通達を出した)

(Berita Harian Online 18/3/2005)

- (102) Kumpulan terbabit turut membawa bersama dokumen Kapal Highline 26 yang didaftarkan di Sarawak,tetapi meninggalkan Yacobus,31,yang dicedera di kaki kirinya serta enam awak-awak lain.

(その一団はサラワク州で登録されたハイライン 26 に関する書類も一緒に持ち去ったが、左足に傷を負ったヤコブス 31 歳と他の 6 人の船員達を置き去りにしていった)

(Berita Harian Online 2/3/2005)

- (103) Menteri Luar, Datuk Seri Syed Hamid Albar berkata beliau terkejut kerana kenyataannya yang dibuat atas semangat kejiranian serta bagi mengukuhkan lagi hubungan rapat kedua-dua negara ,disalah tafsirkan.

(外務大臣ダト・スリ・サイド・ハミド・アルバー氏は、近隣の誼で、そして又両国の関係を一層緊密にすべく発言した内容が誤解を生んだことに対し驚きを禁じ得ないと語った)

(Berita Harian Online 29/1/2005)

上の例だけから考えると、どんな場合にも、この動詞一体化副詞は、他動詞とその目的

語を分断する位置に現れる様に見えるが、次の様な例もあるので、必ずしもこの位置に固定されている訳ではない。

- (104) Sejurus kemudian ia merebahkan dirinya semula.
(その後すぐに又彼は身を横たえた)

(Kamus Komputer Telapak)

- (105) Kalau dia memukul kamu, (kamu) pukul dia balik.
(もしも彼が君を殴ったら、君も殴り返せばいい)

(105) に関しては、目的語が一語で、しかも短い語であることが関係している様に一見すると思われる。しかし、次の例を見れば、この推測は当っていないことが明らかとなる。

- (106) Suatu hari nanti saya akan membala balik perbuatannya itu.
(いつかあいつの仕打ちに対して仕返しをしてやるぞ)

(Kamus Komputer Telapak)

この(106)の例では、目的語はたった二語で、短いにも拘わらず、動詞一体化副詞の *balik* は、動詞の後の位置から離れてはいないから、(105)で、*balik* が、動詞から離れているのは、*dia* が短いという理由ではなく、目的語が代名詞であるからと考えられる。(104)で動詞一体化副詞が、動詞から離れているのも、同様の理由によるものと思われる。

5. 結語

前に観た通り、*laju* という様態の副詞は、動詞の左に現われる時には、*dengan* という前置詞を伴って現われる。又、*di sini*（当地に於いて）と *semalam*（昨日）が同じ節中に現われる場合は、*di sini* が *semalam* に先行するという分布上の制約がある。これらのことから、副詞は副詞句に姿を変えたり、付加詞相互の位置は、副詞であるか、副詞句であるかには関係無くそれが文中で果たす機能によってそれら相互の配列順序が決まってくるという事実が受けられるので、付加詞相互の配列順序に就いて考察する際には、副詞と副詞句の区別は無視して差し支えないと思われる。以上のことを踏まえて、ここでは、機能的に単純副詞と同じ機能を果たす副詞句と単純副詞を同一の資格を持った駒として扱い、それら各駒同士の配列上の規則を探り、以って、本論の総括とするつもりである。

通常の布置、即ち、無標の布置に於いては、場所を表わす付加詞と、時を表わす付加詞が、動詞から一番遠い位置、即ち文尾に現われ、しかも、場所を表わす付加詞の方が、時を表わす付加詞に先行するという規則性が看取される。この配列順序は、動詞との関係の深さと関係していると思われる。次は、文尾に場所の付加詞と時の付加詞が連続して現れる典型的な例である。

(107)=(55) Seorang penjenayah dikenali Man Power yang diburu polis sejak dua tahun lalu kerana terbabit dalam lebih 30 rompakan dan samun bersenjata di tujuh negeri, ditahan di Bandar Baru Salak Tinggi di sini, awal pagi semalam.

(7つの州で30以上の強盗事件と武器による恐喝事件に関与した廉で2年前から警察に指名手配されていた通称 Man Power なる犯人が昨日の早朝、当地のパンダー・バル・サラ・ティンギで捕まった)

(Berita Harian Online 5/3/2005)

この例に見られる様に、場所を表わす付加詞と時を表わす付加詞は連続して出現するのが普通であるし、二つで一纏りの単位の様に振舞う。例えば、次の(108)では、di sebuah rumah kosong di Taman Bamboo ,Jalan Ipoh di sini (当地のイポ通りの「竹林公園」の空き家)と pagi semalam (昨日の朝) は共に dalam serbuan (警察の手入れで) という副詞句を修飾する要素であり、 pagi semalam だけが主節の動詞である ditahan (逮捕された) に掛かるということはない。

(108) Pelbagai jenis mercun dan bunga api bernilai RM30,000 untuk kegunaan perayaan Tahun Baru Cina bulan depan dirampas dalam serbuan di sebuah rumah kosong di Taman Bamboo ,Jalan Ipoh di sini pagi semalam.

(来年の中国正月に使われる様々な爆竹や花火 3万リンギット相当が、当地のイポ通りの「竹林公園」の空き家に対して昨日の朝行われた捜索で押収された)

(Berita Harian Online 20/1/2005)

この(108)に於いては、di sebuah rumah kosong di Taman Bamboo , Jalan Ipoh di sini という場所の付加詞と、 pagi semalam という時間の付加詞は、文尾に現れているが、この文全体に掛かる付加詞ではなく、 dalam serbuan (警察の手入れ) という副詞句に属する要素となっている。同様に、(109) の di sebuah rumah di Jalan Sri Petaling 10, Taman Sri Petaling di sini (当地のタマン・スリ・パタリンのスリ・パタリン通り十番地の一軒の家で) という場所の付加詞と petang semalam (昨夕) という時間の付加詞は、この文全体に掛かる付加詞ではなく、 dalam satu cubaan ssamun (強盗未遂) という副詞句に属する要素となっている。

(109) Dua lelaki termasuk seorang warga Indonesia ditahan dalam satu cubaan samun di sebuah rumah di Jalan Sri Petaling 10,Taman Sri Petaling di sini,petang semalam.

(インドネシア国籍の一人を含む二人の男が、当地のタマン・スリ・パタリンのスリ・パタリン通り十番地の一軒の家で昨夕強盗未遂で逮捕された)

(Berita Harian Online 20/1/2005)

上で述べた如く、場所の付加詞と時間の付加詞は無標の位置として文尾の位置を占める。しかし、この原則は、文中に複文が無い場合にあてはまるものであって、次の例に於ける

様に, *diberitahu* 以下にゼロ補文子で始まる名詞節が来ている様な場合には, *dekat sini* と *semalam* を文尾に置くと, この両付加詞は名詞節に属するものと解釈されるので, この例にある様な位置を取らざるを得ない。

- (110) Mahkamah Majistret Atmpang dekat sini ,semalam diberitahu seorang ibu berusia 37 tahun yang didakwa mendera anaknya berusia enam tahun,menghidap penyakit skizofrenia.

(当地の近くのアンパン治安判事裁判所は昨日 6 歳の自分の子供を折檻したとされる 37 歳の母親がヒステリーを患っていたという報告を受けた)

(Berita Harian Online 20/1/2005)

場所の付加詞と時の付加詞は, 文の一番最後に置かれ, その文を締め括る様な機能を果たす。しかし乍ら, 時として, 最後尾に現われる筈の場所の付加詞や時の付加詞の後に, 更に別の付加詞が続く時がある。この様な場合, 場所の付加詞, 或いは時の付加詞で一度文は完結した形になり, その後先行する文に対する付加的な情報を付け加えるという形を取っている。次の (111), (112) を参照されたい。

- (111) Tabung Bencana Tsunami Asia —Kementerian Luar ,yang ditubuhkan Wisma Putra dengan kerjasama Berita Harian dan Harian Metro bersama TV3 serta 8TV ditutup secara rasminya semalam dengan kutipan terakhir RM886,393.58

(青年組織とブリタハリアン, ハリアンメトロ, 第 3 チャンネル, チャンネル 8 との共催によって作られた外務省アジア津波災害基金は昨日公式に終了したが, 88 万 6 千 3 百 93 リンギット 58 セント集まった)

(Berita Harian Online 1/2/2005)

- (112) VCD berkenaan kini berada di pasaran dan dijual secara bebas di pasar malam di bandar ini seperti di Jelutong,Air Itam dan Pulau Tikus pada harga RM12 seunit.

(件の VCD は今市場に出回っており, この街のジュルトン, アイルイタム, プラウティクスの夜市で自由に売られてて, 値段は 1 個 12 リンギットである)

(Berita Harian Online 6/4/2005)

(111) では, 時の付加詞である *semalam* で文は一応完結したことになるが, その後集まつた金の額に就いての情報が追加されている。同様に (112) でも, *di pasar malam di bandar ini* seperti di Jelutong, Air Itam dan Pulau Tikus (この街のジュルトン, アイルイタム, プラウティクスの夜市で) という場所の付加詞で一度文は完結し, その後 VCD1 個の値段に就いての情報が追加されているのである。この様な, 文を締め括る機能を有する場所や時の付加詞の後に更に別の付加詞が続くと言う有標の布置は, 新聞の様なジャーナリズムの文体を特徴づけるものではないかと考えられるが, この点に関しては更に調査をしてみる必要がある。

通常は、この様な布置は、非文を齎す。例えば、次の様な文は、かなり拙い文であるとされるが、それは、di Baghdad malam semalam（昨日の夜バグダッドで）という文の締め括りの機能を果たす場所と時間の付加詞が現われ、文の完結を予告しておきながら、更に、理由の付加詞が続くからである。

- (113) ???Seorang anggota tentera Amerika ditemui mati dalam keretanya di Baghdad malam semalam kerana terlibat dalam kes letupan bom.

(アメリカ軍の兵士が昨日の夜バグダッドで自分の車の中で死んでいるのが発見された、爆発事故に巻き込まれて)

しかし乍ら、次の文は、場所と時間の付加詞と、理由の付加詞の出現順序は(113)と同じであるが、この文は認められる形である。

- (114) Seorang anggota tentera Amerika ditemui mati dalam keretanya di Baghdad malam semalam kerana dibenci kumpulan pelampau Islam yang menyangka anggota tentera itu yang membuang al-Quran ke dalam manguk tandas

(アメリカ軍の兵士が昨日の夜バグダッドで自分の車の中で死んでいるのが発見された、その兵士がコーランを便器に捨てたとイスラム過激派が思い込み憎しみを買ったからである)

何故(113)が非文であるのに、(114)は認められる形なのであろうか。それは、両文に於ける、kerana節の長さが文法性に影響を与えていたと思われる。つまり、(114)では、kerana節が長いので、もし、通常の布置に従って、kerana節をdi Baghdad malam semalamの前に置くと、非常にバランスの悪い、頭が重い文ができてしまうので、それを避けるためにやむを得ず、kerana節を時間の付加詞の後に置いたのである。即ち、有標の位置を探らざるを得ない何らかの理由が存在する場合に限って通常の付加詞の配列が変えられると考えられる。

次に手段を表わす付加詞と、時間の付加詞との出現順序に就いて見てみよう。手段を表わす付加詞は、次の如く、かなり自由に移動する付加詞である。次の3例に於いて、手段を表わす付加詞は、夫々、文頭、主語と動詞の間、動詞とそれを修飾する前置詞句の間に置かれているが、これらの文は、孰れも認められる形である。

- (115) Dengan kapal laut ,dia berlepas ke Mekah kelmarin.

(船で彼はメッカ巡礼の旅に上りました)

- (116) Dia ,dengan kapal laut , berlepas ke Mekah kelmarin.

(彼は船でメッカ巡礼の旅に上りました)

- (117) Dia berlepas dengan kapal laut ke Mekah kelmarin.

(彼は船で一昨日メッカ巡礼の旅に上りました)

しかし乍ら、(118) の様に、時を表わす付加詞の後に手段を表わす付加詞を置くと、かなり容認度が低い文となる。

- (118) ???Dia berlepas ke Mekah dari Singapura kelmarin dengan kapal laut.
(彼は船で一昨日メッカ巡礼の旅に上りました)

(118) が認容度がかなり低い文となるのは、文の一番外の境界線をなす付加詞の一つである時間の付加詞 kelmarin が現われて、文の終結を示しておき乍ら、猶その後に動詞と密接な関係にある手段の付加詞が現われることで、通常の布置が破られることによるものである。動詞と密接な関係にある手段の付加詞である dengan kapal laut (船で) は、文の境界を成す時間の付加詞 kelmarin (一昨日) の内側に現われることが要請される付加詞であるにも拘わらず、この場合その要請される布置に従っていないことが、この文の容認度を下げるに与っているのである。次の文も、(118) 同様容認度が低いのは、やはり手段を表わす付加詞である dengan pisau (ナイフで) が、文の境界線を構成する場所の付加詞と、時間の付加詞を超え、謂わば、違法な越境をした為である。

- (119) ???Ahmad membunuh isterinya di bilik mandi malam semalam dengan pisau.
(アフマッドは浴室で、昨晩妻を殺害した、ナイフで)

(119) のマレーシア語の訳文は、この文の認容度の低さを日本語に反映させたものである。 様態の付加詞も、手段の付加詞と同じく、動詞との関係が密接な文構成単位であるから、 様態の付加詞が文の境界線を成す付加詞を超えて、その右に現われると、手段の付加詞の場合と同じく、文の認容度はかなり低くなる。次の文の認容度の低さは上に述べた理由に拠るものである。

- (120) ???Seorang lelaki yang tidak dikenali meragut beg Aminah di lorong gelap malam semalam dengan tiba-tiba.
(見ず知らずの男が暗い小路でアミナのバッグを引っ手縫った、突然)

この日本語の訳文は、マレーシア語の文の認容度の低さを反映させたものである。そして、 dengan tiba-tiba という様態の付加詞を文の境界を成す付加詞（今後これを境界形成付加詞と呼ぶことにする）の内側に収めた (121) の文は認められる形の文である。

- (121) Seorang lelaki yang tidak dikenali meragut beg Aminah dengan tiba-tiba di lorong gelap malam semalam.
(見ず知らずの男が暗い小路で突然アミナのバッグを引っ手縫った)

次に他動詞とその目的語の間に楔を打つような形で、付加詞が入ってくる場合に就いて

考察することにする。こういう形が、容認されるのは、前に触れた動詞一体化副詞が、他動詞と目的語の間に割って入る場合である。ここで、動詞一体化副詞が現われる例を再掲する。

(122) = (106) Suatu hari nanti saya akan membalas balik perbuatannya itu.

(いつかあいつの仕打ちに対して仕返しをしてやるぞ)

(Kamus Komputer Telapak)

この様な例を除くと、次の様に、他動詞とその目的語が分断された文は悉く認容度の低い文となる。

(123) ???Seorang lelaki yang muncul dari lorong gelap meragut dengan tiba-tiba beg Aminah.

(路地の暗がりから現れた男が突然アミナのバッグを引っ手縫った)

(124) ???Dia menyerang dengan parang lelaki yang memecah masuk ke rumahnya.

(彼は自分の家に侵入した男を鉈で襲った)

しかし乍ら、次の両例の如く、目的語が長い場合には許容される文となる。

(125) Seorang lelaki yang muncul dari lorong gelap meragut dengan tiba-tiba beg kulit Aminah yang dihadiahkan Tajuddin pada hari jadinya.

(路地の暗がりから現れた男が突然アミナの誕生日にタジュディンがプレゼントしたアミナの皮製のバッグを引っ手縫った)

(126) Dia menyerang dengan parang lelaki yang disangkanya nak memecah masuk padahal dia cuma datang menghantar bungkus dari luar negeri.

(彼はてっきり自分の家に侵入しようと思い込んでその男を鉈で襲撃した、その男は外国からの小包を届けに来たに過ぎないのに)

これらの例から分かる様に、様態を表す付加詞や手段を表す付加詞は、通常、他動詞とその目的語との間の位置を占めることはできないが、目的語が長い場合には、許される有標の位置であることが分かった。これは、もし、これらの付加詞を長い目的語の後に置いた場合には、これらの付加詞が密接に関係する動詞との間の距離が開いてしまうことに起因するのであろう。詰まり、本来ならば、これらの付加詞は、通常、他動詞と目的語の連続の後の位置を占める。しかし乍ら、目的語が長い場合には、それが密接に関係する動詞との距離が開いてしまう。そして、動詞との距離を縮めようとする付加詞配列に働く原則の方が、他動詞とその目的語が分断されるのを避けようとする傾向を凌駕する結果、後者の傾向の貫徹が犠牲にされる形で、これらの付加詞は通常の布置とは異なる位置を占める

ことになる。こういう尋常ならざる布置，即ち，有標の位置への移動を強制する要因が存在する限りに於いて，謂はば，やむを得ざる手段としてこれが許されるのである。

しかし乍ら，尋常ならざる布置を，やむを得ざる布置として許容する要因，即ち，目的語の長さという要因が存在していても，全ての付加詞が，他動詞と目的語の間に割り込める訳ではないということに注意する必要がある。

通常の布置に於いて，動詞と離れた場所に現れる付加詞は，他動詞の目的語が長いという事情があつても，他動詞と目的語を分断することが許されないという事情がある。例えば，(127) の文で，*pada hari Minggu* (日曜日に)，*di belakang tempat letak kereta* (駐車場の裏手で)，*kerana keretanya dirosakkan Abdullah* (車をアブドゥラに壊されて) という時間の付加詞，場所の付加詞，理由の付加詞は，動詞から離れた位置を占めている付加詞であるが，これらを他動詞と目的語との間に割り込ませた文は，全て認容度がかかなり低いものとなる。(128)，(129)，(130) がそれを示している。

- (127) Cikgu Nadiah memukul Abdullah dengan rotan di belakang tempat letak kereta pada hari Isnin kerana keretanya dirosakkan oleh budak nakal itu.
(ナデイア先生は月曜日アブドゥラを駐車場の裏手で籐の鞭で叩いたが，それはその悪戯小僧が先生の車を壊したからであった)
- (128) ???Cikgu Nadiah memukul ,di belakang tempat letak kereta, Abdullah dengan rotan pada hari Isnin kerana keretanya dirosakkan oleh budak nakal itu.
(ナデイア先生は駐車場の裏手で月曜日アブドゥラを籐の鞭で叩いたが，それはその悪戯小僧が先生の車を壊したからであった)
- (129) ???Cikgu Nadiah memukul ,pada hari Isnin , Abdullah dengan rotan di belakang tempat letak kereta kerana keretanya dirosakkan oleh budak nakal itu.
(ナデイア先生は月曜日アブドゥラを駐車場の裏手で籐の鞭で叩いたが，それはその悪戯小僧が先生の車を壊したからであった)
- (130) ???Cikgu Nadiah memukul , kerana keretanya dirosakkan oleh budak nakal itu, Abdullah dengan rotan di belakang tempat letak kereta pada hari Isnin.
(ナデイア先生は月曜日アブドゥラを駐車場の裏手で籐の鞭で叩いたが，それはその悪戯小僧が先生の車を壊したからであった)

参考文献

- Abdullah Hassan (2002) *Tatabahasa Bahasa Melayu: Morfologi dan Sintaksis untuk Curu dan Pelajar*. Pahang Darul Makmur: PTS Publications & Distributors Sdn.Bhd.
- Konishi,T. (小西友七) 『英語基本 形容詞・副詞辞典』. 東京：研究社出版.
- Nik Saftiah Karim et al. (1993) *Tatabahasa Dewan* (Edisi Baharu). Selangor Darul Ehsan:Dewan Bahasa dan Pustaka.

Sulaiman Masri & Ahmad Khair Mohd Nor (2002) *Tatabahasa Melayu: Mesra Pengguna*. Kuala Lumpur: Utusan Publications & Distributors Sdn. Bhd.